

あまり研究されていない外国語の 不安な話し方の有効性を 評価する介入

語学教育研究センター
常勤講師

シャクター ジョナサン
Shachter Jonathan



研究シーズの紹介

具体的には、リッカート尺度による質問票の提示回数をユーザーが決定できるようにする必要がありました。これは「インスタンス」と呼ばれるもので、ユーザーはインスタンスを1〜6まで選択することができました。システムの用途によっては、リカート式質問票を開始時と終了時にのみ表示することが適切ですが、他の用途では、いくつかの中間的な表示も必要かもしれません。さらに、リカート式質問票の異なる質問セットを、特定のインスタンスの一部として表示できるようにする必要があると判断されました。このため、ある授業では、ある質問セットを授業の開始時に提示し、プルダウンから選択した別の質問セットを授業の終了時、またはその他の定義されたインスタンスで提示するよう指定することができました。さらに、各インスタンスに関連付けられ

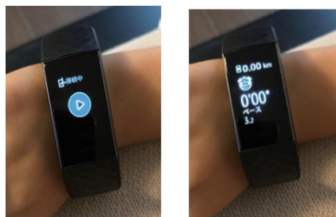
たFitbit提供の心拍数データの正確なタイミングに関する特徴もあります。これにより、関連する心拍数データを、ユーザーがリッカートアンケートの各インスタンスに記入し始める時間の前後、または他のユーザー定義の時間に取得するかどうかを指定できるようになりました。これを実現するための作業には、いくつかの要素がありました。コレクションの設定を保存するデータベースに書き込むインターフェースの作成は、その1つの要素であった。関連するセットを正しく表示し、関連するデータを収集することも、その一つである。最後に、新しいデータ収集処理とユーザー設定を考慮するために、ダウンロード処理を変更する必要がありました。



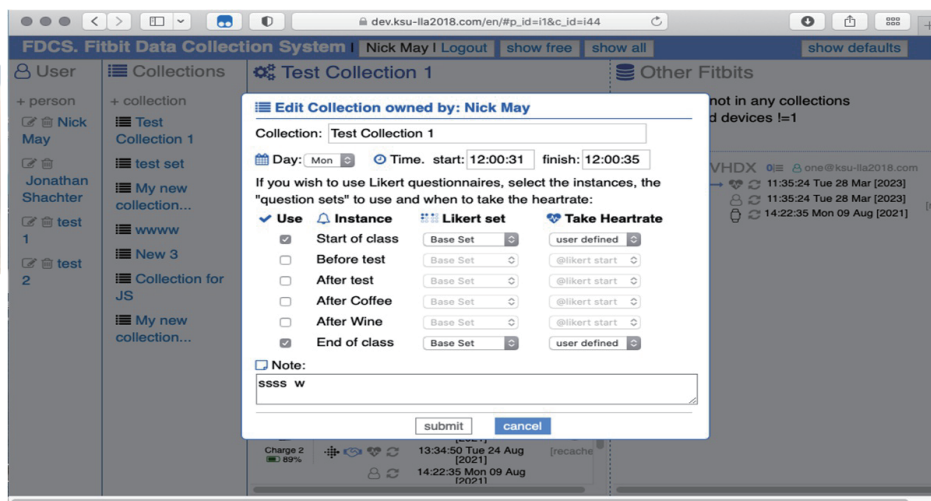
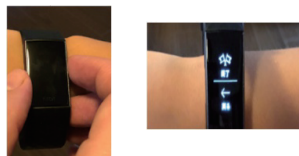
Fitbitのデータ 収集技術

- 調査中、心拍数の変化を測定することができます
- ここから、次のような問いを立てることができます：
- 報告という行為はFLSAに影響を与えるか？

英語を話す前に「スタート・ラン」をする。



英語を話す後に「ストップ・ラン」をする。



期待される活用シーン

- 本シーズの活用先が求めていることを記入



心拍数と調査スコアの相関？



- 本シーズの活用先が求めていることを記入



これを教室で試すことができるようになったのです。

